

| | | | | |
|--------|--|---|----|----|
| 特定行為区分 | 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | | 時間 | 16 |
| 特定行為名 | (A) インスリンの投与量の調整 | | | |
| 学ぶべき事項 | (共通) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識 | 1. 糖尿病とインスリン療法に関する局所解剖 2. 糖尿病とインスリン療法に関する病態生理 3. 糖尿病とインスリン療法に関するフィジカルアセスメント 4. インスリン療法の目的 5. 糖尿病とインスリン療法に関する検査（インスリン療法の導入基準を含む） 6. インスリン製剤の種類と臨床薬理 7. 各種インスリン製剤の適応と使用方法 8. 各種インスリン製剤の副作用 | | |
| | (A) インスリンの投与量の調整 | 1. 病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む） 2. 病態に応じたインスリンの投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等） 3. 外来でのインスリン療法と入院の適応 4. インスリン療法に関する患者への説明 | | |
| 研修概要 | (共通) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識 | 糖尿病の病態やインスリン療法を理解し、安全にインスリン投与量の調整を実践できる看護師を養成する。 | | |
| | (A) インスリンの投与量の調整 | 医師の指示の下、手順書（スライディングスケールは除く）により、身体所見（口渇、冷汗の程度、食事摂取量等）及び検査結果（血糖値等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、インスリンの投与量の調整を行う。 | | |
| 到達目標 | 1. 糖尿病の特徴と具体的な治療方法を理解する。 | | | |
| | 2. 血糖異常や食事摂取量等その他糖尿病の状況に応じて、適切なインスリンを選択できる能力を得る。 | | | |
| | 3. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。 | | | |
| | 4. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見（口渇、冷汗の程度等）及び検査結果（血糖値等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、インスリンの投与量の調整が行えるようになる。 | | | |
| | 5. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。 | | | |
| | 6. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。 | | | |
| 評価方法 | 講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト | | | |
| | 演習：ペーパーシミュレーションによる演習及び模擬講義 | | | |
| | 試験：eラーニング上もしくは集合で実施 | | | |
| 研修内訳 | 講義（13時間） | 視聴時間45分＋講義確認テスト15分 | | |
| | 演習（3時間） | 視聴時間（イントロ）5分＋グループワーク45分＋視聴時間（解説）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う | | |
| | 試験（任意） | 試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください | | |

| 学ぶべき事項 | | 講師 | 所属 | 研修方法 | 通番 |
|-----------------------------|------------------------------------|------|------------------|------|----|
| (共通) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識 | 糖尿病とインスリン療法に関する局所解剖、目的 | 岩田 実 | 室蘭工業大学保健管理センター教授 | 講義 | 1 |
| | 糖尿病とインスリン療法に関する病態生理 | 岩田 実 | 室蘭工業大学保健管理センター教授 | 講義 | 2 |
| | 糖尿病とインスリン療法に関するフィジカルアセスメント | 岩田 実 | 室蘭工業大学保健管理センター教授 | 講義 | 3 |
| | 糖尿病とインスリン療法に関する検査（インスリン療法の導入基準を含む） | 岩田 実 | 室蘭工業大学保健管理センター教授 | 講義 | 4 |
| | インスリン製剤の種類と臨床薬理 | 岩田 実 | 室蘭工業大学保健管理センター教授 | 講義 | 5 |
| | 各種インスリン製剤の適応と使用方法、副作用 | 岩田 実 | 室蘭工業大学保健管理センター教授 | 講義 | 6 |

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------------------|----|----|
| (A) インスリン の投与量の調整 | 病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準 | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 7 |
| | 病態に応じたインスリンの投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等） | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 8 |
| | 外来でのインスリン療法と入院の適応（1） | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 9 |
| | 外来でのインスリン療法と入院の適応（2） | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 10 |
| | インスリン療法に関する患者への説明（1） | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 11 |
| | インスリン療法に関する患者への説明（2） | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 12 |
| | インスリン療法に関する患者への説明（3） | 山崎 勝也 | つくば糖尿病センター 川井クリニック | 講義 | 13 |
| | 病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（1）（ペーパーシミュレーションを含む） | 野見山 崇 | 国際医療福祉大学市川病院 教授 | 演習 | 14 |
| | 病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（2）（ペーパーシミュレーションを含む） | 野見山 崇 | 国際医療福祉大学市川病院 教授 | 演習 | 15 |
| | 病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（3）（ペーパーシミュレーションを含む） | 野見山 崇 | 国際医療福祉大学市川病院 教授 | 演習 | 16 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 科目修了試験 | | | | 試験 | - |